

特集『移住促進を目指して』  
東京・関西勝山会から 他



## ふる里の思ふ風景「勝山橋」

ふるさとルネッサンス委員会 委員長 丸屋 仁志

大正三年、京福電燈株式会社の出資による越前電気鉄道株式会社（京福）によって、福井―勝山―大野間に電車が走り、この開通によって大正四年九月、九頭竜川に勝山橋が架けられた。左岸（西側）は鉄骨吊橋、右岸（東側）は木橋で完成された。

昭和十二年、木橋の一部が流失し、鉄筋コンクリートの橋に改修された。

戦時には出征兵がこの橋を渡り戦地に向い、幾数百人が英霊となり、この橋を渡り郷里の実家へと帰還したのである。

昭和三十年前後より全国において集団就職が盛んになり、ふる里勝山を後に関東・関西へと学童が旅立っていった。

勝山駅に向う学童達が、いろんな想いを胸に必ず渡った思いの橋であります。

町中より橋を渡る時、電化の煙（当時は東岸から見る勝山の風景の一つであった。）の光景を目に写し、向山中腹の日蓮上人の石像を仰ぎ勝山駅へと向ったのである。

勝山駅は当時のまま残され、現在国登録文化財に指定されています。

また帰省の際に橋を渡る時、正面に大師山、加越国境の山脈を望み、右に越前富士と呼ばれた荒島岳、左に越前甲の大日山や高尾山、村岡山などが四季折々それぞれの姿で出迎えてくれ、今も望郷を誘う風景である。

昭和十八年、老朽化により吊橋が架け替えられ、吊橋は姿を消した。乗合いバスが通過する度、よく揺れて足元の橋木の隙間から川が見えて足が震えたものでした。

九頭竜川の川泳ぎでは、この吊橋から飛び下りた子供達もあり、当時川はずいぶん深かったと印象に残っている。

勝山橋は、平成十二年頃全面改修され、新勝山橋が誕生した。

移住促進を

目指して



二十九年度、勝山市では移住促進施策を推進しています。今回は県外からのU・イーターナー者にルネッサンス委員がインタビューを実施、今後の勝山市への移住を考えます。

● 寺澤寧子さん

2011年7月転入

出身 愛知県一宮市

Q1. 勝山市を選んだきっかけを教えてください。

A1. 亡くなった父親が繊維の仕事をしていた関係で勝山市を訪れていました。また、父親の宗派が越前大仏清大寺と同じ宗派でした。父親の出身地の岐阜県の本曾川と勝山市の九頭竜川が似ているとのこと、父にとって勝山は印象に残る場所だったようです。父から勝山の話をよく聞いていたので、勝山に対していい印象をもっていました。

以前住んでいた京都で、自宅の近所の白山神社の宮司さんから白山信仰、白山神社について説明をいただき、白山神社にも興味を持っていました。



Q2. 勝山市に住むようになった決め手を教えてください。

A2. 父の話と白山神社にご縁があったのだと思っています。父は勝山に住むことを大変喜んでくれました。仕事はなんとかなると思い、住むところだけ決めました。

Q3. 移住に際して不安だったことはありますか。

A3. 不安というより、愛知県と比較して賃金の低さに驚きました。移住当時、愛知県は時給850円から900円のところ、勝山市は700円程度でした。物価は安いわけではなかったですが、家賃は安かったです。

仕事はあっても、賃金の低さから、暮らしが成り立つのかどうか、最初は悩みましたが、家賃も安く、しばらく生活してみても、やっていける自信がつきま

した。

Q4. 勝山市の気に入っているところを教えてください。

A4. 水や空気がとてもおいしいところ。水は命の源でもあり、おいしいですし、身体にとっても安心です。安心して暮らすことができるって大切なことだと思います。

また、勝山の人は全く地縁のない私にも、まるでずっとお隣に住んでいたかのように野菜などをわけてくださいます。しかもとてもさりげなく自然体で。都会では感じられない自然体の心遣いに本当に感謝しています。



(取材地：おいしい、ちよ鶴)

Q5. ここが改善されたらと思うことや提案をお聞かせください。

A5. 移住を考える人は日本全国を比べています。勝山市のいいところを文章化数値化して見せ



ること、わかりやすく目にもとまりやすいと思います。数値を見て移住を決める方はいると思います。都会と比べていいところを知らせ、感じてもらうことが大事だと思います。子育て支援日本一も数値化すると思います。

また、生活に必要な情報を移住者の目線で発信してくださるとありがたいと思います。イーターナー者にとって、勝山の積雪の多さは想像を超えることがあります。移住希望者には悪いところも正直に見せたうえで、「手厚い支援があります」と一言でくくってしまうのではなく、「こんな支援ができますよ」とわかりやすく説明してくださったら移住希望者が増えるのではないのでしょうか。どれだけ移住者の気

持ちに寄り添えるかが重要だと思います。

それから、単身なのか夫婦なのか二世代なのか、家族構成や年齢によって、必要になるものが違ってくると思うので、勝山で迎える側が、その方々に何を提供できるのか、迎える側も理解しておくといいと思います。安心して移住していただけるような移住者の目線にたつた支援が必要だと思います。

勝山市民の皆さんは移住者を受け入れる包容力があります。都会では感じられないことです。

● **北村 沙恵美さん**  
2017年3月転入

**岐阜県、長崎県を経て勝山にUターン。**

Q1. 移住地に勝山市を選んだきっかけは？

A1. 岐阜県在任時に結婚しました。夫の実家である長崎を経て、私の実家がある勝山市に戻ってきました。私の両親が高齢になりつつあるということが大きなきっかけでした。

移住のタイミングは、子どもが中学校へ入る時期に合わせました。また、実家が古くなってきたので、いずれ立て直しなども考えており、それなら一緒に実家で住めるようになればという思いもありました。

Q2. 勝山に帰ってきてよかったことはなんですか？



A2. 子どもが自然の中で伸び伸び遊べるということがあります。私も同級生に子どものイベントを介して会うことができました。

福井県は教育県。全国でも上位の教育環境があります。転入する前の学校と比べるとしっかりとあります。実際、私が子どものころと比べても、転入前の学校での指導は物足りなく感じました。

Q3. 移住に際して不安だったことはなんですか？

A3. 仕事については、私はなんとかなると思っていました。夫は悩んでいたようです。雪のこともよく言われます。岐阜県、長崎県ではあまり降らなかつたので、全く不安でないかというところ、若干の不安があります。ただ、お正月などで里帰りしたとき、夫は勝山の積雪も見ていますので、来たからには夫にも除雪はしてもらおうと思っております。

Q4. 勝山市の気に入っているところをアピールしてください。

A4. 夫は道路が広く、車で移動するときに走行しやすいと言っています。除雪の関係もあるのかと思いますが、勝山市出身の私には気づかないことでした。

子どもは恐竜が大好きで、恐竜博物館にはよくいきます。スキーシーズン以外でもスキージャムには何度か遊びに行きました。子どもはスキーができないので、冬になったら教えたいと思っています。

子どもも学校にすぐに馴染んでくれて安心しています。



(取材地：花月楼)

Q6. ご主人は勝山市に住むのは初めてだと思いますが、知り合いはできていますか？

A6. 会社の人、地域の人から人間関係を広げているところです。そのためにも地域の作業奉仕や行事には出るようにしています。地域の人と飲みに行くということも今のところないのですが、居酒屋さんなどが周囲に少ないとは感じます。

Q7. こんな支援があったらよかったですと思うことはありますか？

A7. 市の家賃補助を受けています。家賃補助のチラシを夫の会社の人を持ってきてくれて活用することができました。市役所ではそのほか、学校関係の話も親切に教えてもらいました。

Q8. 勝山市へ移住する方へのアドバイスなどはありますか？

A8. 目的があればどんどん来てほしいと思います。子育て環境、教育環境はとてもいい場所です。全国学力テストの結果も福井県はいつも上位にいます。実家がこちらにある方は特におすすめだと思います。そうでない方も、市役所にはいろいろ

Q5. 買い物などで不便は感じませんか？

A5. 買い物は思っていたよりもしやすいです。狭い範囲に結構スーパー等も固まっているように感じます。



いろいろな役所には

住居について相談できることがあるので、問い合わせされてはどうかと思います。

● 柴田麻穂さん

2015年7月転入

東京都出身

Q1. 勝山市を知るきっかけは？

A1. 4年ほど前に勝山市が東京で化石発掘体験を開催していて、そこでアルバイトをしました。現在は恐竜の森で働いています。そのときに現在の同僚の女性と知り合いになりました。恐竜には興味があったのですが、改めて自分の中の恐竜熱が湧き上がりました。恐竜に溢れた町を知り、翌年の左義長まつりに旅行で訪れたことがきっかけになりました。

Q2. 勝山に住むようになったきっかけはなんですか？

A2. 3年前の左義長まつり以降、旅行で3回勝山を訪れました。当時から東京以外で仕事をしたいと思い、田舎暮らしが夢でした。

旅行で来た時もご飯がおいしく、人が優しく、大好きな恐竜にも囲まれる生活にあこがれました。東京では、乾燥のため体調を崩すことが多かったのですが、湿度が高く潤っている勝山市の気候も気に入りました。

Q3. 勝山市に移住した決め手は？

A3. 総合的に勝山市の環境や食、人の良さがありますが、何より恐竜が魅力でした。当時群馬県での生

活も視野に入れていました。関東近郊では、自然史や恐竜で仕事が多いところですが、採用条件が非常に厳しかったことがネックでした。その時期、現在の職場の上司から恐竜博物館のパート雇用を紹介され、勝山市に移住することを決めました。

Q4. 移住に際して不安だったことはなんですか？

A4. 積雪が不安でした。大雪と呼ばれる年はまだ経験していませんが、除雪は一緒に住むようになった友人がやってくれることもあり、今は心配していません。友人も移住者ですが、不満は無いようです。現在の住居は築80年の古いお家なので、最初は虫の多さにもびっくりしました。今は慣れて平気です。虫がいると感動するくらいです！



Q5. 勝山市の気に入っているところをアピールしてください。

A5. 多種多様な動植物が身近にいることです。もともと動物は好きだったので、とても幸せに感じています。蛇口をひねって出てくるお水が、浄水器無しで飲めることも感動です。お米も普通に炊いても自然味が違う、思っていた以上の自然の恵みに満足しています。雪が多いことは自然の厳しさかもしれませんが、より人間らしく生きていくことを実感できる勝山市はやっぱりいいなと実感しています。

Q6. 心配なことはありますか？

A6. 強いて言うならとても小さな町で、自分のことを周りの人がよく知っていることです。

ただこれも良い面のほうが多い。都会では近所に住んでいる人もどんな人かわからない。それは怖いことです。逆にこちらでは、生活を始めたときに一番頼りになったのが近所の人であり、冒頭でも話した現在の同僚の家族の方でした。このお宅には、週に何度も夕食に招いていただきました。お野菜なども気付いたらお家の前に置いていただけ。近所の方は家族のような存在です。私はお野菜を返すということができないので、勝山をアピールすることが、皆さんへの恩返しだと思っています。

Q7. 勝山の魅力をアピールする方法はありますか？

A7. 若い人に抵抗があるのは、職業

が限られるからではないかと思えます。広く若者を誘うのではなく、リゾートが好き、車が好き、恐竜が好きという人。勝山に特化したものを好きという人にPRしてもいいと思います。最近知ったのですが、博フェスというのがあります。そういうものに興味を持っている人が集まる場所で、まず旅行で来てというPRもいいと思います。

Q8. こんな場所があったらいいなと思う施設はありますか？

A8. ボーリング場、映画館、ゲームセンターなどがあつたらいいなと思います。逆に無いからこそ、子どもたちは自然の中で遊べているのかなと思います。遠足で恐竜の森にくる勝山の子たちは礼儀正しく、それは先生が素晴らしいからだと思います。



(取材地：と之蔵)



## 会長離任の弁

東京勝山会 第12代会長 山内 高嘉



この度、任期満了にて今期を以て当会会長職を退任することとなりました。思えば、勝山会に入会させて頂いてから50年の年月が過ぎました。

昭和31年3月に勝山高校を卒業し、上京して62年、自分も一端の東京人となりました。

昭和40年10月1日に山之内株式会社を創業し、今現在は食材と酒類の販売を主に、東京本社（関東地区担当）と、金沢市問屋町に北陸営業所（北陸三県担当）を置き、仕事を行っております。当社も創業から52年が経ち、同業の中でも古い方になりますが、まだまだ仕事を続けていきたいと思っております。長男も53才となり、当社の専務として頑張っております。

創業当時、自分もまだ27才の若さであり、東京の檜舞台で活躍できることがとても嬉しい毎日でありました。30才の時、東京勝山会に入らないかと同級生から誘われ、すぐに入会しました。当時は小石川日立別館で会合があり、毎年出席するのがとても楽しかった。会員の中には年配の方も多く、先輩方の苦労話を聞かせて頂くのが本当に有難く、自分も努力して一日も早くそういう人達の仲間になりたいと思っておりました。その頃は会合に参加する人も少なく、30人位ではなかったかと思っておりますが、東京ではこんな事に気をつけなくてはいけない、煙草は吸ってはいけない、夜はできるだけ外出を控えるように等々、人生の細々としたことを教えて頂き、本当に有難

いと頭が下がりました。今思えばついでこの間の事のように感じます。

平成21年9月、当時勝山会の会合場所となっていた、品川駅構内にあるさつま屋敷に必ず来るようにと幹事の方から言われ、そこで12代会長に推挙して頂き、固辞しましたが、許されないまま今日に至っております。

現在は社会も大きく変わり、自分のようなアナログ人間にはついていけません。これからは若い人が中心になって東京勝山会を発展させて頂きたいと存じます。4期8年もの間このような自分に御協力頂き、誠に有難うございます。

最後に、勝山会歴代会長を紹介させていただきます。

- 初代会長 石川時之助(勝山) / 2代 渡辺 義孝(鹿谷)
- 3代 西脇 静(勝山) / 4代 多田 新一(荒土)
- 5代 加藤 信一(勝山) / 6代 近藤 勝(北郷)
- 7代 小泉宗一郎(勝山) / 8代 小林 捨男(勝山)
- 9代 鴨下 英主(勝山) / 10代 加藤 直子(北郷)
- 11代 藤野 真二(勝山) / 12代 山内 高嘉(野向)

### 第64回「東京勝山会総会・懇親会」ご案内

日時 平成29年10月15日(日)正午より  
 場所 東京銀座 ライオン銀座七丁目店  
 (隣は4月開業、大評判のギンザシックスです。)



## 関西勝山会の近況

関西勝山会 副会長(兼事務局) 高井 征夫

当関西勝山会も世間のいろいろな会と同じように、会員の高齢化が進み、会の将来が大変不安です。

先輩たちが、過去91年間も続けてこられた当会を私たちの時代で、無くすことのないよう、いろいろと検討中ですが、よい方法が見つかりません。

前号で、東京勝山会の方が述べられていたように、若い方への役員交代が、最も良い方法であると同感し、その旨、努力中です。

なるべく早い時期に、若返った新役員による、活力ある関西勝山会の変革にご期待頂きたいと存じます。

本年も、右記のとおり開催いたします。



### 第91回 関西勝山会総会・懇親会

日時 平成29年11月5日(日)  
 11:00~14:30 (受付10時より)  
 場所 太閤園 (大阪市都島区網島町9-10  
 Tel.06-6356-1110)  
 連絡先 関西勝山会事務局 高井 征夫  
 TEL.06-6261-2006  
 FAX.06-6261-2008

# 移住者に向けた支援制度、拡充しています

勝山市で住んでみたいという方に向けた支援制度を拡充しています。  
身近な方で興味のある方にご紹介ください。

## ◆ 暮らす

- ①住宅の取得やリフォームに必要な費用の一部を助成します **【最大200万円】**
- ②民間賃貸住宅の家賃の一部を助成します **【月額上限1万円(子育て世帯等は加算あり)】**
- ③移住に際してかかった引越費用の一部を助成します **【上限10万円】**

## ◆ 働く

- ①医療機関及び介護サービス事業所で働く看護師、介護職員の方に交付金があります**【年額10万円・3年間】**
- ②市外の事業所に通勤する人(市境から20km以上)に交付金があります **【月額2,000円・2年間】**



## ◆ 育てる

- ①中学校3年生までの子どもの医療費(保険適用分)が全額助成されます
- ②第3子以降の出産に対し20万円が支給されます
- ③保育料はひとり親世帯への軽減及び第3子以降の無料措置があります
- ④小学生の学童保育が無料で利用できます

## ◆ 学ぶ

- ①県外の大学等を卒業した市内定住者の勝山市育英資金奨学金について、返還減免制度があります
- ②市内定住者の教育資金返済に伴う支払利子について、一部補給を受けられます

# ふるさと納税でぜひ勝山市に応援をお願いします!!

ふるさとを応援したいという方々の想いを実現するため地方自治体に寄附ができる「ふるさと納税制度」

## ● 選べる納税の方法

### ● 郵便振替

お電話でお問い合わせいただければ、専用の郵便振替用紙を郵送します。

(下記連絡先「勝山市ふるさと創生・移住課」までご連絡ください)

### ● クレジット決済

ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」上の申込みフォームからのクレジット決済(Yahoo! 公金支払い)が可能です。

## ● 応援いただく視点

下記の『5つの視点』から寄付金の使途を指定してご寄付をしていただくことができます。

- ①「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」
- ②「福井しあわせ元気国体・元気大会に向けた選手強化とスポーツ人口の拡大」
- ③「エコ環境都市」
- ④「すこやか・かつやま」
- ⑤「目指そう世界遺産!白山平泉寺」

※ 特に使途の指定がないものは、勝山市で使途を設定させていただきます。

## ふるさとルネッサンス委員

委員長	丸屋 仁志	委員	森本 陽子	委員	荒尾 るみ子
委員	荒井 由泰	//	阿部 光郎	//	北川 晶子
//	笠川 小末	//	四谷 由起夫		(順不同・敬称略)

発行/ふるさとルネッサンス委員会 (事務局) 勝山市商工観光部 ふるさと創生・移住課  
〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1-1 TEL.0779-88-8130 FAX.0779-88-1119  
e-mail: iju@city.katsuyama.lg.jp 勝山市ホームページ: http://www.city.katsuyama.fukui.jp

ゆっくりのんびり観光にきませんか?

